



「東洋のマンチェスター」の栄光と挫折

～煙突と、のこぎり屋根と、市電跡と～

此花区界隈は、大正期には「おぼけ煙突」に代表される春日出発電所、大阪鉄工所、汽車製造株式会社、住友伸銅所、住友電線製造所、住友製鋼所などの大工場が集積し、第一級工業区として成長しました。しかし、戦争の進行に伴い、軍需工場が激増すると、工業地帯は6度にわたって大空襲を受け、また度重なる台風などの水害のため荒廃しました。その後、西六社(住友電気、住友金属、住友化学、日立造船、汽車製造、大阪ガス)の進出などで、徐々に復興が進み、大阪の高度経済成長を支えた時代もありました。

① 郵便事業株式会社新大阪支店(旧新大阪郵便局)

平成6年(1994)8月1日より業務を開始。通常郵便を扱う「郵便棟」と小包郵便を扱う「ゆうパック棟」に分かれています。平成19年(2007)10月1日民営化に伴い、郵便事業株式会社新大阪支店に改称されました。蒸気機関車の名門製造所、大阪汽車会社(正式名称は汽車製造合資会社、汽車製造株式会社大阪製作所→川崎重工業)の工場跡です。



② ガソリンカー転覆事故慰霊碑

昭和15年(1940)1月29日、安治川口駅構内島屋町踏切で発生した西成線(現:JR桜島線)列車脱線火災事故の犠牲者を慰霊した碑です。死者189名、重軽傷者69名。日本の鉄道事故において、正確に記録されたものとしては史上最多数の死者を出した大惨事でした。



③ 桜堤の碑

春日出新田は数度にわたって干拓されましたが、当初は桜堤を築いて浸水を防いでいました。ところが時代が経ると、堤が田畑になってしまっていたので、開拓を引き継いだ清海安五郎が、あらためて津波などに備えて築堤しました。その経緯を記した記念碑で、明治19年(1886)に建立されました。春日出共同墓地内の一角にあります。



④ 住友化学株式会社大阪工場中門

住友化学大阪工場は、中門を挟んで北部地区と南部地区に分かれ、その間をJR桜島線(愛称:ゆめ咲線)が通っています。そのため構内を移動する車両や人が踏切待ちをするというめずらしい光景がみられます。敷地面積約262,000㎡、甲子園球場の約6.6倍の広さがあります。



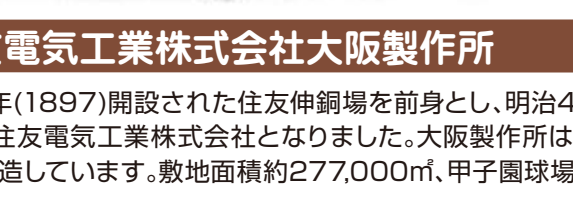
⑤ 朝日神明社

川岸町(南新田)の鎮守神の皇太神社(天保年間創建)と、浪速三神明(朝日神明宮・日中神明宮・夕日神明宮)のひとつで、もと中央区(旧東区)にあった朝日神明宮を合祀し、明治40年(1907)朝日神社と社名を改め、昭和6年(1931)現地に移転されました。平成7年(1995)、春日大社本宮旧社を頂き、「春日社」が再建されました。



⑥ 住友化学株式会社大阪工場

住友化学は、大正2年(1913)に愛媛県新居浜市の別子銅山の銅精錬時に発生する有害な亜硫酸ガスを回収し、それを原料として肥料を製造するという公害防止目的の事業から始まりました。大阪工場は、大正5年(1916)、合成染料の国産化を目的として設立された日本染料製造株式会社が、その前身です。わが国で初めて合成染料の生産が行われ、昭和19年(1944)の合併によって住友化学大阪工場となりました。



⑦ 住友電気工業株式会社大阪製作所

明治30年(1897)開設された住友伸銅場を前身とし、明治44年(1911)住友電線製造所として分離独立。昭和14年(1939)住友電気工業株式会社となりました。大阪製作所は大正5年(1916)の開設で、通信ケーブル、システム製品などを製造しています。敷地面積約277,000㎡、甲子園球場の約7.0倍です。

⑧ 大阪市電春日出車庫跡

大正12年(1923)9月開設。建屋は5棟で構成され、単車で192両収容可能でした。昭和20年(1945)6月1日に空襲で全焼。昭和22年(1947)8月に復旧されましたが、昭和44年(1969)2月1日、大阪市電西野田線(兼平町～島屋町間)の廃止に伴って廃止されました。



⑪ 此花今昔物語・大阪浪漫

住友金属工業南側塀(長さ450m)を利用して縦1m、横2mの巨大パネル142枚が展示されています。此花区の歴史・産業・施設、大阪市の代表的な建築物などを写真やイラストで紹介しています。



⑩ 住友金属工業株式会社製鋼所

明治30年(1897)創業の住友伸銅場と、明治34年(1901)創業の住友鑄鋼場が昭和10年(1935)に合併、住友金属工業株式会社としてスタートしました。製鋼所は日本で最初の民間鑄鋼工場として開業、鉄道・自動車・船舶等交通に関する重要部品と産業機械品の設計、加工、組立を行っています。敷地面積約482,600㎡、甲子園球場の約12.5倍です。

⑨ 産土(うぶすな)神社

宝暦12年(1762)、大坂の島屋(浅田市兵衛)が正蓮寺川左岸の一角(現:住友電工内)に新田の鎮守神として創建。しかし昭和9年(1934)の風水害により被災し、昭和13年(1938)に現在の地に移転されました。境内に旧恩貴島(おきじま)町島屋町大風水害復興記念碑があります。

【注意事項】 この地図は「大阪あそ歩」のまち歩き資料として作成されました。まち歩きには、歩きやすい服装と靴を着用してください。車などによく注意し、各自で責任をもって行動してください。また、住宅地では住民のプライバシーに十分配慮して歩きましょう。

【お問い合わせ】 大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会「大阪あそ歩」事務局 電話06-6282-5930(財団法人大阪観光コンベンション協会内)「大阪あそ歩」の詳しいプログラムはホームページをご覧ください。 <http://www.osaka-asobo.jp> または「大阪あそ歩」でネット検索を。

大阪あそ歩のコースは約2~3km、2~3時間程度を基準として作成されています。